【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第４部門第１区分
【発行日】令和3年7月29日(2021.7.29)

【公開番号】特開2020-143567(P2020-143567A)
【公開日】令和2年9月10日(2020.9.10)
【年通号数】公開・登録公報2020-037
【出願番号】特願2019-91650(P2019-91650)
【国際特許分類】
Ｅ０６Ｂ　7/06　(2006.01)
Ｅ０６Ｂ　3/36　(2006.01)
Ｅ０６Ｂ　7/32　(2006.01)
Ｅ０５Ｄ　11/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｅ０６Ｂ　7/06
Ｅ０６Ｂ　3/36
Ｅ０６Ｂ　7/32　Ａ
Ｅ０５Ｄ　11/10

【手続補正書】
【提出日】令和3年6月15日(2021.6.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ドア枠により形成された開口部を開閉する扉を、第１扉体と第２扉体から構成してなるドア装置において、
第１扉体の戸先側はドア枠の戸先側に係脱可能となっており、
第２扉体の戸尻側はドア枠の戸尻側に回動可能に装着されており、
第１扉体は第２扉体に回動可能に装着されており、
開口部全閉時には、第１扉体と第２扉体は、見込面同士が隙間を存して近接対向して前記扉を形成しており、
開口部全閉姿勢からの扉の開放初動時に扉開放の抵抗となる差圧が発生している場合には、第１扉体のみを回動させて差圧を解消可能に構成されており、
前記隙間に位置して、第１扉体の回動角度規制手段が設けてあり、前記回動角度規制手段は、差圧を解消可能な程度の第１扉体の回動を許容し、開口部全閉時から第１扉体のみが所定角度回動した時に第２扉体に対する第１扉体の回動を規制する、
ドア装置。
【請求項２】
開口部全閉時において、前記回動角度規制手段が設けられた隙間の第１側に位置して、第１扉体と第２扉体の一方の扉体の見付面から突出する突片が、他方の扉体の見込面に近接しており、前記隙間の第２側に位置して、第１扉体と第２扉体の一方の扉体の見込面に設けた気密部材が他方の扉体の見込面に密着している、
請求項１に記載のドア装置。
【請求項３】
前記回動角度規制手段が設けられた隙間は、高さ方向に延びる見込面の間に形成された高さ方向に延びる隙間である、

請求項１、２いずれか１項に記載のドア装置。
【請求項４】
前記回動角度規制手段が設けられた隙間は、前記第１扉体の回動軸芯の近傍に位置している、
請求項１～３いずれか１項に記載のドア装置。
【請求項５】
前記回動角度規制手段は、第１扉体の見込面と第２扉体の見込面の一方の見込面に設けた第１要素と、他方の見込面に設けた第２要素とを備え、開口部全閉時に、前記第１要素及び前記第２要素は、前記隙間に位置しており、開口部全閉時から第１扉体のみが所定角度回動した時に前記第１要素と前記第２要素が当接して、第２扉体に対する第１扉体の回動が規制される、
請求項１～４いずれか１項に記載のドア装置。
【請求項６】
前記第１要素は見込面に形成した受部であり、前記第２要素は見込面に突成した突部であり、
開口部全閉時には、前記突部は、前記受部内の第１の位置に位置しており、
第１扉体が閉鎖姿勢から所定角度回動すると、前記突部が、前記受部内の第２の位置に移動して当該受部の部分に当接することで、第２扉体に対する第１扉体の回動が規制される、
請求項５に記載のドア装置。
【請求項７】
前記第１要素は、第１扉体の見込面に形成された受部であり、前記第２要素は、第２扉体の見込面に形成された突部である、
請求項５、６いずれか１項に記載のドア装置。
【請求項８】
第１扉体の見込面は、異なる高さの戸先側上面及び戸尻側上面と、戸先側上面の戸尻側端部と戸尻側上面の戸先側端部間で高さ方向に延びる上方中間見込面と、異なる高さの戸先側下面及び戸尻側下面と、戸先側下面の戸尻側端部と戸尻側下面の戸先側端部間で高さ方向に延びる下方中間見込面と、を含み、
第２扉体の見込面は、開口部全閉時に、前記第１扉体の上方中間見込面、下方中間見込面に隙間を存して対向する上方見込面、下方見込面、を含み、
前記回動角度規制手段の第１要素、第２要素の一方は前記第１扉体の上方中間見込面、下方中間見込面に設けられ、他方は前記第２扉体の上方見込面、下方見込面に設けられている、
請求項５～７いずれか１項に記載のドア装置。
【請求項９】
前記第１要素、前記第２要素は、高さ方向に延びる見込面に設けてあり、
前記第２要素は、第１部分と第２部分とから断面視Ｌ形状を有しており、第２扉体に対して第１扉体が第１側に回動した状態において、前記第１扉体の見込面と前記第２扉体の見込面の間の隙間に、第２側から挿入可能な形状及び寸法となっており、
前記第２要素は、前記第１部分が前記第２扉体の見込面に当接し、前記第２部分が突部として、前記第１扉体の見込面の受部に挿入された状態で、前記第１部分が前記第２扉体の見込面に固定されている、
請求項５～８いずれか１項に記載のドア装置。
【請求項１０】
前記第１扉体の見込面の第２側部位には気密部材が設けてあり、
前記第２要素は、第２扉体に対して第１扉体が第１側に回動した状態において、前記第１扉体の見込面に設けた前記気密部材と、前記第２扉体の見込面の第２側部位との間の空間から挿入可能な形状及び寸法となっており、
前記第２要素の第１部分は、螺子によって前記第２扉体の見込面の第２側部位に固定さ

れており、
開口部全閉時には、前記気密部材が前記第２扉体の見込面の第２側部位に接触することで、前記螺子が隠蔽されている、
請求項９に記載のドア装置。
【請求項１１】
前記第２扉体の見込面には、第２側部位から離間した部位に補強部材が固定されており、
前記補強部材は前記見込面から立ち上がる当接部を備えており、前記当接部の突出寸法は、開口部全閉時に、前記第１要素及び第２要素が位置する見込面間の隙間よりも小さく、前記当接部は、前記第２部分からなる突部の基端側部位の第１側に位置して、当該基端側部位に当接ないし当接可能な状態で近接している、
請求項９、１０いずれか１項に記載のドア装置。
【請求項１２】
ドア枠により形成された開口部を開閉する扉を、第１扉体と第２扉体から構成し、
第１扉体の戸先側はドア枠の戸先側に係脱可能となっており、
第２扉体の戸尻側はドア枠の戸尻側に回動可能に装着されており、
第１扉体は第２扉体に回動可能に装着されており、
開口部全閉姿勢からの扉の開放初動時に扉開放の抵抗となる差圧が発生している場合には、第１扉体のみを第１側に回動させて差圧を解消するように構成されているドア装置において、
前記第１扉体の第１見込面と前記第２扉体の第２見込面は高さ方向に延びており、開口部全閉時には、前記第１見込面と前記第２見込面が対向して高さ方向に延びる隙間が形成されており、前記第１見込面と前記第２見込面のいずれか一方の見込面には受部が形成されており、
閉鎖姿勢にある第２扉体に対して第１扉体を第１側に回動させた状態として、前記第１扉体の第１見込面と前記第２扉体の第２見込面の隙間を拡開させて第２側に挿入空間を形成し、
突部を備えた回動角度規制部材を、前記挿入空間から前記第１見込面と前記第２見込面の間に挿入し、前記突部を前記一方の見込面の受部に挿入させた状態とし、前記回動角度規制部材を前記受部が形成されていない他方の見込面に固定する、
ドア装置における回動角度規制部材の取付方法。
【請求項１３】
前記受部は、前記第１扉体の前記第１見込面に形成されており、
前記突部を形成する第１部分と、第２部分とから断面視Ｌ形状を有する前記回動角度規制部材を、前記挿入空間から前記第１見込面と前記第２見込面の間に挿入し、第１部分を第２見込面に当接させ、第２部分を第１見込面の受部に挿入させた状態とし、
前記回動角度規制部材の第１部分を前記第２見込面に螺子で固定する、
請求項１２に記載のドア装置における回動角度規制部材の取付方法。
【請求項１４】
ドア枠により形成された開口部を開閉する両開き扉を、第１扉体と第２扉体からなる一方の扉と、他方の扉と、から構成してなるドア装置において、
第１扉体の戸先側は前記他方の扉の戸先側に係脱可能となっており、
第２扉体の戸尻側はドア枠の戸尻側に回動可能に装着されており、
第１扉体は第２扉体に回動可能に装着されており、
開口部全閉時には、第１扉体と第２扉体は、見込面同士が隙間を存して近接対向して前記扉を形成しており、
開口部全閉姿勢からの扉の開放初動時に扉開放の抵抗となる差圧が発生している場合には、第１扉体のみを回動させて差圧を解消可能に構成されており、
前記隙間に位置して、第１扉体の回動角度規制手段が設けてあり、前記回動角度規制手段は、差圧を解消可能な程度の第１扉体の回動を許容し、開口部全閉時から第１扉体のみ

が所定角度回動した時に第２扉体に対する第１扉体の回動を規制する、
ドア装置。
【請求項１５】
ドア枠により形成された開口部を開閉する両開き扉を、第１扉体と第２扉体からなる一方の扉と、他方の扉と、から構成し、
第１扉体の戸先側は前記他方の扉の戸先側に係脱可能となっており、
第２扉体の戸尻側はドア枠の戸尻側に回動可能に装着されており、
第１扉体は第２扉体に回動可能に装着されており、
開口部全閉姿勢からの扉の開放初動時に扉開放の抵抗となる差圧が発生している場合には、第１扉体のみを第１側に回動させて差圧を解消するように構成されているドア装置において、
前記第１扉体の第１見込面と前記第２扉体の第２見込面は高さ方向に延びており、開口部全閉時には、前記第１見込面と前記第２見込面が対向して高さ方向に延びる隙間が形成されており、前記第１見込面と前記第２見込面のいずれか一方の見込面には受部が形成されており、
閉鎖姿勢にある第２扉体に対して第１扉体を第１側に回動させた状態として、前記第１扉体の第１見込面と前記第２扉体の第２見込面の隙間を拡開させて第２側に挿入空間を形成し、
突部を備えた回動角度規制部材を、前記挿入空間から前記第１見込面と前記第２見込面の間に挿入し、前記突部を前記一方の見込面の受部に挿入させた状態とし、前記回動角度規制部材を前記受部が形成されていない他方の見込面に固定する、
ドア装置における回動角度規制部材の取付方法。